



政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 7年 6月 30日
項 目	① 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	会報「新風」代金として
金 額	66,000 円
支出内訳	会報代金として 66,000円
領 収 書	

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 宮坂昌利

領収書

No.

令和 7 年 6 月 30 日

市民自治をめざす会

様

¥ 66,000

但し 会報「新風」代金

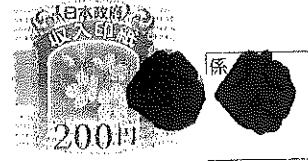
かわらぬお取引さまことにありがとうございます。上記の金額正に領収いたしました。

税 率	10%
税抜金額	60,000
消費税額	6,000



魚海株式会社

富山県 町27番13号
〒920-0253
FAX 076-7344
登録番号 14230001007001



市政つうしん 新風

発行日 2025.5 No.1

6月定例会

- ・公民館のコミュニティーセンター化について
- ・保育士の処遇改善について
- ・子育て政策について
- ・スポーツについて

9月定例会

- ・保育関係について
- ・定住対策の充実について
- ・スポーツ・文化について
- ・自治基本条例の見直しについて

12月定例会

- ・介護について
- ・人口減少と子育て政策について
- ・部活動地域移行について

3月定例会

- ・道路の除雪対策について
- ・チョイソコ魚津（オンデマンド交通）について
- ・ふるさとキャリア教育について
- ・魚津市自治基本条例の一部改正について
- ・保育士の確保について



宮坂まさとしの

主な地域活動

- 本江地区振興会顧問
- 本江1区町内会役員
- 本江地区自主防災会
- 本江神明社総代会
- 魚津市卓球協会理事
- UOZU.JTC名誉監督
(魚津ジュニア卓球クラブ)
- 川原保育園保育補助

議会委員会活動

- 民生文教委員会委員
- 地域振興とまちづくり
特別委員会副委員長
- 議会だより
編集委員会委員



私が聞いた市民の声

子どもが登園を本意からできないお母さんがおられるとでもありがたい (30代女性)

富山湾の素晴らしさをもっと知ってもらえるように海に関するイベントがあってもいい (40代男性)

保育士の処遇改善してほしい (20代女性)

介護タクシー代金に補助金を出してほしい (50代男性)

魚津駅前広場整備事業について、もっと早くおこなってからのスタートしてほしい (60代女性)

市政への皆様のご意見をお待ちしております

発行/魚津市議会 市民自治をめざす会

魚津市議会事務局内

〒937-8555 魚津市釈迦堂1-10-1
魚津市役所 4階



instagram
@masa-pinpon



Facebook

市民自治をめざす会の活動の一つとして、市民の皆様の声に耳を傾け、その声をもっと広く周知し、反映させていくことが求められています。日々の暮らしの中で感じられるご意見やご要望を把握し、地域の課題を共有し、解決することが、議会活動において大切であると考えています。今後とも、市民の皆様との交流を大切に、丁寧な議会活動に努めます。

6月定例会

会期：6月3日(月)～21日(金)

映像は
こちら



公民館のコミュニティセンター化について

Q 令和6年度より、13地区の公民館がコミュニティセンターになりましたが、コミュニティセンター化された目的を問う

A 生涯学習事業に加えて、地域それぞれの特性や独自性を尊重した自主的な活動を推進するための地域コミュニティの活動拠点の場となることを目指している。

令和5年度からの13地区すべてのコミュニティセンター化を推進する計画は、市民の方から要望が多いが、少しずつ進

保育士の処遇改善について

Q ここ10年でファミリー層が増え、人口増加にもつながっている千葉県流山市では、独自の事業で、正規保育士の給与が月額43,000円上乗せされていて、他にも支援制度があり、保育士を大募集されていますが、魚津市でもこのような大胆な施策が必要と思うが見解を問う

A 議員ご指摘のとおり、これまでの施策の延長ではなかなか保育士が確保できないのではないかというご指摘はそのとおりであろうと思います。市としても思い切った施策を打っていききたいという考えは持っているが、一方で、状況はどこの市町村も同じです。そうすると激しい人材の取り合いということになるわけでありまして、ここを何とか回避しながら、県全体として保育人材を引き上げていきます。

Q 保育補助として働いたからこそ、現場の大変さというのが、多分動かなかったらわからないことがたくさんありまして、ぜひ市長にも1日、1日園長でもいいので、保育園で1日通して体験されてみたらどうですか？

A そういった現場の状況を体験させていただける機会をまた作っていききたいと思っております。

現場の状況を体験させてもらうことは、市長市長には現場で体験することができないので、村橋市長には現場で体験していただく動きかけをしていく。

子育て政策について

Q 令和5年9月から魚津市独自の政策で、1歳児以上すべての児童及び第2子以降の0歳児の保育料及び副食費が無料となり大変ありがたいことであり、もっと市内外にアピールするべきではないか見解を問う

A 保育料無償化に関する周知につきましては、これまで市広報やホームページをはじめ、入園申し込みや母子手帳を配布するとき、あるいは子育てセンターをご利用いただくときなどに行って来ていますが、実際に入園時に初めて知ったという方もいらっしゃるという聞いています。もっともっとアピールをしていく必要があると思っています。

子育て政策の周知については、市民の方から知ってほしいという声が多いので、もっともっとアピールする動きかけをしていく。

スポーツについて

Q 活躍が期待される選手に、もっと市全体で盛り上げていかなければならないと思うが見解を問う

A 本当に子どもたちは、ジュニアからいろんな競技で頑張っています。そのような活躍をやはり多くの市民の方にもまず知ってもらうということが大事だと思います。市民挙げてスポーツに打ち込み頑張っている姿を応援するということがやっていきたいと思っております。

活躍する選手の活躍を応援して知ってもらえるように、市民の方から知ってもらう動きかけをしていく。

9月定例会

会期：9月2日(月)～10月4日(金)

映像は
こちら



保育関係について

Q 保育士不足に関しまして、新卒採用や潜在保育士の発掘について、市の見解は？

A 保育補助者を配置した私立の認定こども園に、雇い上げに必要な経費を補助するなど、保育士不足の解消に努めておるところでございます。また、昨年度に引き続きまして、ワンチームとやまでの協議事項に保育士の人材確保も取り上げていただいております。今後も県や他の市町村と連携をしながら、新卒採用や潜在保育士の発掘など、保育士確保に向けてさまざまな方策を検討してまいりたいと考えております。

今までの政策の延長だけではなかなか解決できない問題が、今後も大胆な施策を推進していきたい。

定住対策の充実について

Q 定住・交流促進事業について、子育て新婚世帯や若年世帯には様々な助成制度がありますが、東京23区以外の県外からの単身での移住に對しての助成については、現在ないと思っております。今後、助成事業を拡大していく予定はあるのか？

A 単身者の移住を促進することについては、地域の活性化や多様性、また、新たな視点や価値観が地域にもたされるなど、様々な効果が期待できます。今後、単身者への移住支援制度の導入につきましては、他の自治体の取り組みなどについて情報収集に努めるとともに、国、県の動向を注視しながら検討していく。

移住者には、どこから来られても助成制度があるように、積極的に取り組んでいきたい。

スポーツ・文化について

Q 令和2年度より減額となっているスポーツ競技大会出場奨励金について増額はできないのか？

A 中学校の部活動の地域移行に端を発して中学校のスポーツを取り巻く環境も変化していくものと考えられますので、その状況に合わせて、奨励金制度の趣旨でありますスポーツ振興、それから競技力向上を目指すような支給対象の大会、それから基準額、そして支給方法の研究に努めていく。

Q 文化関係には奨励金の支給がないのは何故か。今後進めていく予定はないのか？

A スポーツ競技においては、全国大会や北信越規模の大会を支給対象としている。文化関係については、全国規模の大会自体が少なく、出場実績も多くないため、支給要綱は設けてないが、全国大会出場時には、その都度、スポーツの要綱に照らし合わせて対応している。

奨励金の増額と芸術文化関係の支給要綱の見直しは、この機会にチャレンジしていく。

自治基本条例の見直しについて

Q 今回の見直しは、条例のどの部分の見直しですか？

A 条例見直しのポイントですが、市内13地区にあります地域振興会の位置づけや役割を条例でどのように明確化できるかという点になります。

Q 地域振興会の組織の位置づけを明確にするために、新たに地域づくり組織条例のようなものを制定する予定なのか？

A 新たな条例の制定により、地域振興という組織の主体性や自主性に制約が生じて自由度が下がることを懸念するご意見もいただいておりますが、そのような意図は全くなく、市民自治をさらに推進するため、この地域活動の核となる地域振興会より分かりやすく具体的に整理するといったことを目標に、この条例の見直しを考えている。

令和7年9月定例会において、魚津市地域振興会組織条例の制定について、内容がよく分からないことなどがある。今後、市民の方から知ってもらう動きかけをしていく。

12月定例会

会期：12月2日(月)～20日(金)

映像はこちら



介護について

Q 認知症介護者に、認知症ケア技法「ユマニチュード」知ってもらえるよう働きかけては？

A 認知症について正しい知識を持ち、ご本人やその家族の「身近な理解者」や「見守りの担い手」となる応援者「認知症サポーター」の養成講座を開設しているが、今年度は、この講座の受講者を対象に、ユマニチュードの考え方を取り入れたステップアップ講座を開催した。今後は、ステップアップ講座だけでなく、市民公開講座等を通じて周知できるよう検討する。

このユマニチュード講座を開催したことで、認知症の理解が深まり、認知症サポーターの養成にもつながりました。

人口減少と子育て政策について

Q こうのとりのプロジェクトについて、今年の成果と今後の予定及び今までの成婚数は？

A 会員登録制のお見合いサポート事業である「こうのとりのマリッジサポート事業」においては、新たに5名の第1見合者があり、会員同士のマッチング、お相手のご紹介ですが、こちらについては3組達成したところです。今までの成婚数は、2組です。今後は、近隣市との連携や他自治体の取組事例なども研究しながら実施していく予定です。

今年度は、お見合いの回数が増え、お相手とのマッチングも進みました。

部活動地域移行について

Q 地域スポーツクラブ指導者謝礼の支払い状況と今後の見込みについて

A 1時間1,600円として、平日・土日の練習や、中学校体育連盟主催の大会への参加時間のうち一定の時間分を対象としている。交通費は1人1日300円を支給している。4月から7月の間の指導者数は48人で、謝礼の総支給額は、謝礼旅費を合わせて約200万円となり、年間総額として620万円ほどが見込まれている。予算不足分は、今議会へ補正予算要求をしている。

地域移行が進むにつれて、指導者の確保も進んでいます。

3月定例会

会期：2月28日(金)～3月21日(金)

映像はこちら



道路の除雪対策について

Q 今回のような大雪の場合の捨て場は、事前に調べて、使わなくなった空き地や住宅の庭などの了解をもらっておくことで、スムーズに除雪が可能になるのではないかと？

A 大雪の際は、除雪路線沿線での雪置き場の不足などから、市内各所で除雪作業が追い付いていない状況が見られ、今回のような大雪時の雪置き場は、まだまだ不足していると考えられます。従いまして、新たな雪置き場について、自治会長様をはじめ、除雪業者等へも照会するなど、新たな雪置き場としてご協力いただける敷地のご提供について、引き続き地域の皆様にご理解とご協力をお願いしてまいります。

今回の大雪時、地域を回り、今の現状を把握できた。次回の大雪時に困らないうちから準備していく。

チョイソコ魚津(オンデマンド交通)について

Q 実証運行の結果を問う

A 上中島地区及び本江地区の一部で実施したチョイソコ魚津の結果については、会員登録者数は145人となりましたが、うち利用者は34人となりました。また利用実績につきましては、実証開始直後の第2週までは1便のみでしたが、周知が進んだ第3週以降増加し、期間中は全部で93便の運行になりました。

令和8年4月からの本格運行に向けて、行政・市民・企業が一歩ずつ連携を深めています。今回の実証運行は、その一歩として、市民のニーズを把握し、公共交通になるよう働きかけをしていく。

ふるさとキャリア教育について

Q 全体を通じて話を聞くことが多いのではないかと、もっと身体を使ってふるさと魚津市を体験するプランを増やせないものなのか？

A 魚津市のふるさとキャリア教育では、魚津の自然・歴史・文化・産業、人など、地域の人々に学び、社会に直接触れる体験を重視しております。例えば、3年生のテーマは「魚津の特産物を学ぼう」ですが、座学だけでなく、りんごやブルーベリーの収穫体験をしたり、現地で生産者から工夫や苦勞を聞いたりしている。また、4年生は「魚津の自然(水循環)を学ぼう」というテーマで、浄化センターや高円堂用水、東山田分水槽に生かしている。学芸員から話を聞くだけでなく、施設や構造物を見て感じる体験を通して学びを深めている。もっと身体を使ってふるさと魚津を体験するプランを増やせないかというご提案ですが、すべての学校が取り組むスタンダードプランの中に、ねらいや発達段階に応じた体験的な学びをどのように増やしていくことができるか、各学校独自の取組を参考にしながら研究していく。

学校での勉強を否定しているわけではないが、私は、地元を愛する心を持って、幼い頃から地域の方と関わったまじくワクワクするような体験が、大事なのではないかと考えます。地元の方と触れ合いながら、魚津の良さを知ることで、地域に愛着を持ってもらうことが、地域活性化につながると思います。ぜひ、子どもたちには、魚津の魅力を体験し、魚津の良さを知ることで、地域を愛する心を持ってもらうことを目指してまいります。

魚津市自治基本条例の一部改正について

Q 今議会に提出されている魚津市地域振興会組織条例の制定に伴い、魚津市自治基本条例の8章「地域コミュニティ」の部分の改正して、「別に条例を定める」と改正できないのか？

A ひとつの条例の中で具体的な事項を別の条例に委任する場合「別に条例に定める」という表現を用いることはございますし、法制執務のルールとして、このような表現を用いても問題はないものと理解している。しかしながら、魚津市自治基本条例は、本市の自治の規範を定める最高規範と位置付けており、ご指摘の第8章第25条は、自治体、地域活動団体、地域振興会といった地域コミュニティ組織を定義付けしている規定であり、他の条例に委任することなく、当該条例で明確にお示しすることが必要と考えられている。

今回は「別の条例を定める」と追記してもらえなかったが、追記した方が見やすく分かりやすいので、これからは改正を求めていく。

保育士の確保について

Q 保育園の1日体験はいつまでに実施されますか？

A 昨年の夏場以降のスケジュールが合いませんでした。令和7年度中に実施したい。

令和7年度に実施予定を答弁をいただいたので、日程を調整して実現したい。

★(社福)長岡福祉協会

高齢者総合ケアセンターこぶし園
*地域包括ケアシステムについて
各地域ごとにサポートセンターがあり、理想の形であった。また、キッズスペースやカフェがあり、地域住民の憩いの場でもあり、老人の施設とは思えないほどであった。特養の方では、部屋別に外から入ることができる扉があり、家族の方が出入りできることも利用者目線で素晴らしいと思いました。このようなサポートセンター構想は、魚津市では難しいですが、介護を受ける方が、自分らしく楽しく利用できる工夫が大切だと感じました。

★草加市役所

*認知症対策事業(認知症検診事業)について
認知症は、なかなか自分1人では分からず、家族の支えもあり、早期発見が重要である。草加市では、認知症検診を実施している。費用は無料で、60歳の方及び65歳以上の方(60歳の方については、草加八潮医師会が費用負担している)が対象となっている。受診率は約3.0%と低く、今後の課題として、今以上に周知を行うことや、認知症検診実施後の指定医療機関と2次医療機関とのスムーズな連携、認知症検診の結果を地域包括支援センター等の地域の社会資源と情報共有し、連携した支援が必要とのことでした。認知症ガイドブックも作成しておられて、認知症予防に関して力を入れていることが分かった。良いことをしていても、なかなか受診率が上がらないと、良くないので、魚津市においても認知症予防に力を入れていくと同時に、周知徹底が必要不可欠である。

★上越市役所

*コミュニティスクールについて
コミュニティスクールの指定をする前から、各中学校区ごとに、地域青少年育成会議が設置されて、各校区ごとに様々な課題に取り組んでこられたことにより、コミュニティスクールの指定はスムーズにできたとのことだった。

★妙高市役所

*学校給食の充実や食育の推進について
生徒や保護者からもアンケートを取り、献立を考えておられ、生徒のことを一番に考えておられることが分かった。給食費の無償化にも取り組んでおられて、市内外の学校に在籍していても妙高市民であれば適用されることにも驚いた。食育についても、なかなか魚津市ではできていないと思うので、学校給食の有難さを伝えていく必要があると思う。

地域振興とまちづくり特別委員会副委員長

行政視察 山形県 7月22日(月)~23日(火) NPO法人きらりよしじまネットワーク

地域づくりに必要な4つの柱として、【合意形成・ひとづくり・資金づくり・つながる】がありました。合意形成の部分で、従来のピラミッド形では、住民の思いが伝わりにくい住民不在だったものを、フラット&ウェブ型にすることにより、地域づくりに住民の参画と実践を約束することによって、民主的合意形成が生まれるようになってきたとのことでした。また、ひとづくりの部分では、自治会から推薦をされた概ね18歳から35歳の若年層を取り組むことで、上手に世代交代をされているとのことでした。今私が住んでいる町内会も、なかなか若い世代の協力が得られない状況にあります。まずは雑談会でも良いので、みなさんの思いを聞ける機会を作っていき、少しずつではありますが、地域の活動に興味を持ってもらえるよう行動をしていきたいと思いました。今回の視察で学ぶだけでなく、実践をしていきたいと思えます。



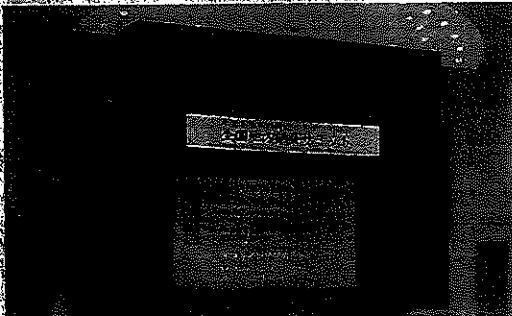
自治体・公共WEEK2024 東京都 6月26日(水)~28日(金)

今回初めて、東京ビックサイドで開催された【自治体・公共Week】に参加してきました。地方創生・自治体向けサービス・自治体DX・インフラメンテナンス展・地域防災・スマートシティ推進。以上6つの展示会があり、またセミナーにも参加してきました。素晴らしいものばかりで感動の連続でした。来年もこの時期に開催予定とのこと、是非議員のみならず、市職員にも参加をしていただきたいと思いました。できるできないではなく、このような機会に足を運び触れるだけでも、良いアイデアが生まれてくるのではないかと感じました。



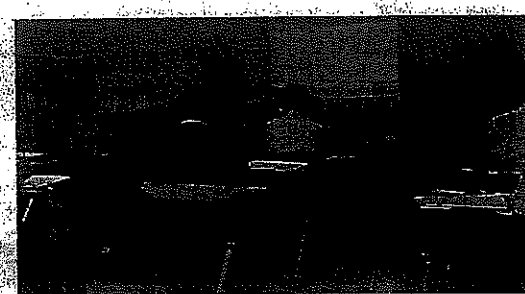
全国地方議会サミット 東京都 7月10日(水)~11日(木)

今回、初めて全国地方議会サミットに参加しました。非常事態に備え、これからの議会の在り方をメインでの講義でした。実際に被災された、自治体の首長や議員の方のお話は、本当に生々しく大変ご苦労されたことが良く分かりました。非常事態になった時に、一番の問題は「トイレ問題」とのこと、食べ物や飲み物は何とかなんとのことでした。災害はいつ起こるか分からないではなく、「必ずおきる」という言葉も心に響きました。元日の地震により、今まで以上に防災に関する意識が高くなっている我が魚津市。今後もいざというときに、しっかりと対応できるようにしていきたい。



市町村財政分析基礎講座 東京都 8月17日(日)~18日(月)

全国各地から市町村議員の方が来ておられて、意見交換をしながら学ぶことができました。自治体の財政について初めて学んだが、思っていたよりも複雑で、初めて聞く言葉が非常に多く、何度も勉強しなければ身につかないことが良く分かった。また議員になり3ヶ月であり、分からないことが多いが、財政仕組みが分かなければ、様々な質問等ができないと痛感しました。今回に限らず財政の勉強を継続していこうと思います。



- ★京都水族館・議員の発言権と質問力向上セミナー 京都府 11月7日(木)~8日(金)
★新人議員研修全国キャラバン 東京都 12月7日(土)
★トップランナーに学ぶ受賞事例研修会 東京都 11月14日(木)